

科目名	発達と老化の理解	担当講師	垣上正裕・原田和美
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	2 学年 前期
評価基準	テスト 100% (垣上 80% 原田 20%)		
目標	<p>①発達の概念および、発達に影響する要因の学習を通じて、人間のライフサイクルにおける生涯発達を概観する。</p> <p>②人間の生涯発達の過程の学習を通じて、健康の概念を理解する。</p> <p>③老年期における形態・機能的特徴を学習し、老年期の対象の形態・機能的側面を理解する。</p> <p>④老年期における心理・社会的特徴を学習し、老年期の対象の心理・社会的側面を理解する。</p> <p>⑤老年期における健全な発達を阻害する因子について学習し、老年期の対象が健全な発達過程を送るために必要な身体的・心理的・社会的支援の重要性を理解する。</p>		
回	講義内容	方法	
1	発達とは ー生涯発達という考え方を学ぶー	講義	
2	生涯発達と健康 ー生涯発達という視点から健康とはなにかについて考えるー	講義	
3	発達段階とは ー人間の一生を各期にわけて検討する考え方を学ぶー	講義	
4	発達課題とは ー誕生から死までの間に変化する人間の心理・社会的発達ー	講義	
5	発達と個人差① ー人間の生涯発達に影響する因子について考えるー	講義	
6	発達と老化 ー生涯発達という視点から「老いる」ということについて考えるー	講義	
7	老年期の認知の特徴 ー老年期の認知の特徴の生活への影響を考えるー	講義	
8	老年期の精神機能の特徴 ー精神機能と生活のつながりについて考えるー	講義	
9	老年期の心理の特徴 ー老年期の心理の特徴から生きがいや健康、死について考える	講義	
10	老年期のこころの健康問題① ー老年期の起こりうる心の健康問題ー	講義	
11	老年期のこころの健康問題② ー認知症によってもたらされる生活上の困難と支援について考えるー	講義	
12	老年期の発達と健康問題の概観 ーこれまで学習したことを概観し老年期の対象への理解を深めるー	講義	
13	発達と個別性② ー障がいと発達について考えるー	講義 (原田)	
14	発達と個別性③ ー障がいと発達について考えるー	講義 (原田)	
15	試験・まとめ	試験	
テキスト・参考書	新・介護福祉士養成講座 11 発達と老化の理解	配布プリント	